

企業名：       デクセリアルズ株式会社

レポート名：       デクセリアルズ統合レポート 2021 を読んだ感想

### 1. この会社が目指す姿が理解できるか

様々な分野において、デクセリアルズが目指す姿を理解することができた。例えば、一つは新しい製品を創造するという精神である。「今までなかったものを。世界の価値になるものを。」というコンセプトをもとに、会社設立当初から現在に至るまで、年表のような形で写真を載せながら多種多様な新しい精神を数々と生み出してきたことが一目でわかるようになっていた。さらに、「デクセリアルズの製品はこんなところで使われています」といった紹介ページでは町の絵をもとに、いたるところでデクセリアルズの製品が利用されていることが図から一目で理解でき、この会社は幅広い価値のある製品を生み出すことができるのだと伝わった。また、これからの進化のために、目標を非常に明確に明記しており、ビジョンが私たちにも詳細に伝わる場所が良いと感じた。

二つ目の例は、環境についてである。地球環境の豊かさとともに向上するという目標のもと、持続可能な社会をめざして事業継続を行っている。取り組みや目標、その目標に対する実績が年度ごとに詳細の記述があり、環境保全への多大な努力を知ることができた。

最後の例として、製品の質や技術にとってもこだわりを持っている。社員の研修、教育の充実をはじめ、物質管理システムや品質管理に力を入れたり、他社にはない独自の優れた技術で日々改善を行い成長させたりする姿勢が伝わった。

### 2. この会社の競争優位性が理解できるか

この会社の価値は、新しい技術の組み合わせにより価値を創出し、社会課題の解決に貢献することにある。多岐にわたる貢献をはかっている例として、例えば光学フィルムカテゴリーや光学樹脂材料カテゴリーでは、グローバルで高いシェアを持っており、また私たちが実際に使うノート PC やディスプレイ、医療製品まで順調に売り上げを伸ばしている。さまざまな機能が求められる製品を作るにあたって、素材の優位性や技術開発力を駆使して、ますます市場での活躍の場を広げている。さらに、自動運転や自動化に伴うセンシングデバイス、また通信デバイスなどがこれからますます必要になっていく中で、多種多様な分野において今後、商材の事業機会は増えていくと考えられる。

### 3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

この会社は、顧客からニーズをひきだし、改善、開発を行うことに力を入れている。近年

では自動車業界と提携して製品開発を行っており、EV や自動運転が注視される昨今ではこの会社への追い風となっている。さらに、脱炭素社会の流れになっている中で、環境負荷を減らし事業を継続することが大いにプラスに働くと考えられる。

また、統合レポートではこの会社の計画性が十分にあることがうかがえる。2019年4月から5カ年の中期計画「進化への挑戦」を策定、公表しており、現在もアップデートを重ねながら、さらなる成長を遂げている。実際業績も右肩上がりになっており、経営基盤の安定、さらなる投資に伴い、他社と差異化できる技術力をさらに生かしていけるのではないかと考える。計画を細かく立て、反省するところや顧客のニーズに沿って随時計画を修正していく成長サイクルが十分にあるのだと感じる。

#### 4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

率直な感想を述べさせていただくと、この統合レポートからは、私自身が人的資本の価値向上を達成できるかどうかは言い切れない。確かに、この会社は入社当初から社員に様々な研修を行うことで、社員の知識や理解を深めており、人材の育成に力を入れていることがわかる。人材マネジメントについて記されたページには、いつ頃、どんな研修が受けられるかが詳細に書かれてあり多くの知識を得て成長できるのではないかと思う。しかし、この統合レポートを見てこの会社を初めて知る私自身にとって、漠然としていて伝わりにくい。「自ら学び、自ら考え、自ら行動する」という目標はとても重要なことだとは思いますが、具体的に入社したらどんなことをするのかといった透明性がもっと欲しいと感じた。今まで大学まで学んできたことを入社したらどう生かせるのかがわからないと、自分の価値をこの会社でどう生かしていくのかがわからない。例えば、今働いている若手社員の仕事の様子や人的資本の価値をどう生かしているのかといった具体的な様子が記されていたら、学生もビジョンを描きやすいのではないかと考える。

#### 5. 報告書にはどのような改善余地があるか

この統合レポートは様々な分野からこの会社の価値を細かく記してあり、非常に良いと思う。しかし、4でも述べたように、会社として行っていることと同時に、もっと社員個人にも焦点を当てべきだと考える。学生がこの統合レポートを見て、この会社でどんなことができ、どんなふうに自分が活躍できるのかがわかれば、もっと入社を考える学生が増えるのではないか。学生に近い若い社員の活躍の様子を取り上げるなどして、この会社に入社するということへの親近感が欲しいと思う。

また、日本は男女格差が先進国で最下位の国である。女性の活躍や育児についての記載も少々見られたが、これも具体的な体験談といったものがあつたらよかった。男性の育児取得についてもわずかだけしか触れていなかったが、男女平等を唱えるのであれば、もっと前面

に出していくべきだ。私自身女性の立場として、女性の活躍や育児休暇が取りやすい職場環境に関して非常に関心を高く持っている。文字だけで語るのではなく実際の声を届ければさらに今後入社を考える人々のところに響くのではないかと思う。

最後にレイアウトについて少々気になった点があった。前方のページに、例えば環境配慮や働き方改革などの特集のページがあり、他の話題を挟んでから、また環境に関するページと、働き方に関するページがあった。この会社はさまざまなことへ力を入れているため、多くの分野の取り組みを記さなければならない。70ページを超える長いレポートであるため、読む人にわかりやすく伝えるためにも、分野ごとに場所をまとめた方がよいのではないかと感じた。